

怖いを愛する—映画監督・清水崇の世界展

●前橋市出身で、ホラーをメインジャンルに幅広い作品を世に送り出し、世界的に活躍する映画監督・清水崇。幼少から高校卒業までの前橋での日々の紹介や、映像制作のきつかけとなった群馬県人口200万人記念映画『眠る男』（1996年・小栗康平監督）、日米で大ヒットを記録した映画『呪怨』（シリーズ、最新作『犬鳴村』ゆかりの品々などから、清水監督の作品世界を存分に味わえる本展。期間中は前橋シネマハウスで上映会も開催します。2020年1月25日には、監督が前橋シネマハウスに凱旋。シアタートークも行います。

愛する

怖いを

映画監督

# 清水崇の世界展



二〇二〇年一月十八日(土)

～三月二二日(日)

【開館時間】9時～17時(入館は30分前まで)

【休館日】水曜日

【会場】3階オープニングギャラリー

観覧料—無料



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

## PROFILE

## TAKASHI SHIMIZU

清水崇 (しみず・たかし)

ブースタープロジェクト所属

1972年群馬県前橋市生まれ。大学で演劇を専攻し、同郷の小栗康平監督作『眠る男』（96、群馬県製作）に小道具担当として参加。上京後、助監督を経て、黒沢清、高橋洋両監督の推薦で、98年監督デビュー。代表作『呪怨』シリーズ（99、02）はUSリメイク版『THE JUNGLE』、『呪怨』（04）で、日本人初の全米興行成績No.1に。他に『稀人』（04）、『輪廻』（05）、『戦慄迷宮3D』（10）、『魔女の宅急便』（14）、『ブルーハーツが聴こえる』『少年の詩』『こどもつかい』（共に17）など。ホラーやスリラーを中心に、ファンタジー、コメディ、SF、ミステリーなどを手掛ける。現在、『9次元からきた男』（16）が、日本科学未来館にて上映中。2020年2月7日より、最新作『犬鳴村』が全国公開。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

## 前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10  
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512  
<https://www.maebashibungakukan.jp/>

### 交通案内

電車	JR 前橋駅から徒歩約20分 上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分
自動車	関越自動車道 前橋 I.C から 車で約15分

●広瀬川サンワパーキング（市営P 城東）のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。



©2020『犬鳴村』製作委員会

清水崇監督最新作  
映画『犬鳴村』  
2020年2月7日  
全国公開



●前橋シネマハウス 清水崇作品 特集上映スケジュール

7 金	6 木	5 水	4 火	3 月	2 日	2/1 土	31 金	30 木	29 水	28 火	27 月	26 日	1/25 土
作品情報など詳しくは 前橋シネマハウス ホームページをご覧ください。			休映	休映	13:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「少年の詩」』	13:30 『ユメ十夜』	17:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「怪談 こつちを見ないで…」 「少年の詩」』	17:30 『ビデオ版 呪怨』	17:30 『劇場版 呪怨』	休映	17:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「怪談 こつちを見ないで…」 「少年の詩」』	13:30 『ビデオ版 呪怨』	13:30 『少年の詩』
17:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「怪談 こつちを見ないで…」 「少年の詩」』	17:30 『劇場版 呪怨』	17:30 『ビデオ版 呪怨』			14:00 シアタートーク 「怖さと笑いは紙一重」	14:45 『劇場版 呪怨』							
19:30 『ユメ十夜』	19:30 『劇場版 呪怨2』	19:30 『ビデオ版 呪怨2』	19:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「怪談 こつちを見ないで…」 「少年の詩」』	19:30 『ユメ十夜』	15:30 『劇場版 呪怨』	15:30 『ビデオ版 呪怨』	19:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「怪談 こつちを見ないで…」 「少年の詩」』	19:30 『ビデオ版 呪怨2』	19:30 『劇場版 呪怨2』	19:30 『短編集「怪猫 轢き出し地獄」 「怪談 こつちを見ないで…」 「少年の詩」』	19:30 『ユメ十夜』	15:30 『ビデオ版 呪怨2』	16:45 『劇場版 呪怨2』

毎週火曜休映・会場はいずれもシアター1 (定員56名)  
 1 作品券：1,000 円  
 全作フリーパス：2,500 円  
 チケット販売・問い合わせ：前橋シネマハウス  
 〒371-0022 前橋市千代田町 5-1-16 アーツ前橋上 (3F)  
 TEL:027-212-9127 FAX:027-212-9137  
 URL:www.maecine.com

●関連イベント

上映 & シアタートーク 「怖さと笑いは紙一重」

清水崇 (映画監督)

× ヴィヴィアン佐藤 (非建築家・映画評論家・ドラァグクイーン)

× 萩原朔美 (前橋文学館館長)

2020年1月25日(土) 13時30分(開場13時)

会場 前橋シネマハウスシアター1

対象 一般、先着50名

観覧料 1,000円

シアタートークをはさみ、地元前橋で撮影された『少年の詩』、そして大ヒットを記録した『劇場版 呪怨』を上映。

チケットは12月20日(金)から前橋文学館と前橋シネマハウスで販売します。

※年末年始・休館日を除く、『劇場版 呪怨2』は別料金



清水崇



ヴィヴィアン佐藤



萩原朔美



イラスト/清水崇

●同時期開催

第27回萩原朔太郎賞受賞者展

「和合亮一」

「わたしたちはまだ林檎の中で眠ったことがない」

2020年2月8日(土)～4月12日(日)

会場 前橋文学館2階展示室

観覧料 一般400円(朔太郎展示室もご覧いただけます)

高校生以下無料

障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名無料

●お知らせ

リーディングシアター

「ラヴ・レターズ」

2020年3月7日(土) 14時開演

会場 前橋文学館3階ホール